

科目名	作曲法Ⅱ B	形態	演習	開講期	秋学期
担当教員	小櫻 秀樹	単位	1	年次	1

＝授業科目の目標＝

和声法ⅠCに続き、ⅡCでは、それを発展させ、V7 V9の和音までとりあげる。(根音省略形含む)
ⅠC、ⅡCの習得により、借用和音を含まないバス課題については、確実に理解できるよう指導します。
また、バスとソプラノの定型を理解することにより、ソプラノ課題にも対応できるようにしたいと思います。

＝履修の条件と学習の方法＝

家庭での自主的勉強が必要となるのでその為の課題を与えます。
2/3以上の出席がない場合、理由に関わらず、失格になります。遅刻、早退、中途退席3回で欠席1回と見なします。また、授業時間の半分の時間(45分)を超過しての遅刻、早退、途中退席は欠席扱いとします。

＝授業内容＝

- 1回 3和音の第2転回位置までの復習
- 2回 V7の和音の配置
- 3回 V7の和音におけるバスとソプラノの定型
- 4回 V7の和音の連結(ハ長調)
- 5回 V7の和音を含むバス課題(ハ長調)
- 6回 V7の和音の連結(他の調で)
- 7回 V7の和音を含むバス課題(他の調で)
- 8回 V7の和音からVIへの連結(偽終止)
- 9回 V7の和音の
- 10回 V9の和音の配置と連結
- 11回 V9の和音の根音省略
- 12回 定型の確認とソプラノ課題
- 13回 総合バス課題(1)
- 14回 総合バス課題(2)
- 15回 和声法ⅡCのまとめ

＝成績評価の方法と評価の基準＝

定期試験を主に、日頃の添削、出席状況を加味し評価します。
(85点以上A、70～84点B、60～69点C、59点以下D)

＝テキスト(必携)＝

書籍名：和声 理論と実習Ⅰ
著者名：島岡讓 他
出版社：音楽之友社